

## 競 技 注 意 事 項

1. 競技規則：2021年日本陸上競技連盟競技規則による。
2. 招集時刻は、すべてその競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目		最終点呼完了時刻
トラック	予 選	1 5 分 前
	準決・決勝	1 0 分 前
フィールド		3 0 分 前

※フィールド種目は、競技者の準備が整い次第競技を開始する。

- (1) 他種目をかねて出場する者は、競技者係にその旨を伝え、競技の進行に支障のないようにする。
- (2) 招集に遅れた者は、当該種目を棄権したものとし出場を認めない。
- (3) 招集場所から競技場へ移動する時は、係員の誘導に従い規律ある行動をとる。
3. アスリートビブスは、胸・背部に縫い付ける（安全ピンでも可）。但し、走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳の選手は、胸・背のいずれかでもよい。
4. トラック競技においては、レーンナンバーカードを競技者係より借用し、各自が右腰部に付けること。但し、リレー競技においては最終走者のみ付ける。なお、競技終了後、ただちに競技者係に返却すること。
5. トラック競技予選の走路順及びフィールド競技の試技順序は、プログラム記載の左の行より上から下へ、中の行、右の行へと移り、準決勝・決勝の走路順序は、番組編成員が抽選し決定する。
6. 継走競技のオーダーは、1組目の招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出すること。用紙は競技者係に備えてある。
7. 4×400mRは500mまでセパレートとする。
8. 継走競技においてバトンを受ける前の競技者は自分のレーンまたはゾーンにとどまる。バトンを渡し終えた競技者は、他の競技者への妨害を避けるため、自分のレーンまたはゾーンにとどまること。
9. 跳躍競技のバーの上げ方

男子走高跳	練習 1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	以上3cm毎
女子走高跳	練習 1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	以上3cm毎	
男子棒高跳	練習 2.30	2.40	以上10cm毎					
女子棒高跳	練習 1.70	1.80	以上10cm毎					

※但し、雨天その他のコンディション不良及び審判員の状況判断の結果、この上げ方を変更することがある。

10. 順位決定が必要な場合のバーの上げ下げは、次のようにする。
  - ・棒高跳：5 c m
  - ・走高跳：2 c m
11. やり、ポールへの借り上げについて、当日必ず検定を受けること。
12. 混成競技の点呼は競技1日目・2日目ともに最初の種目については競技者係で行い、2種目からは招集所で混成競技係からチェックを受けることとする。それぞれの競技場所へは混成競技係が誘導する。
13. 1位：8点 2位：7点 3位：6点 4位：5点 5位：4点 6位：3点  
7位：2点 8位：1点
14. 全道大会の出場権は、別紙の通りとする。なお、下記の出場枠の他、8位まで入賞し別に定める「全道大会出場標準記録」を突破した選手には全道大会出場権を与える。  
全道大会の最終枠に複数の選手がおり、規定の方法でも着差、順位差を出すことができない場合は、対象者全員に全道大会出場権を与える。ただし、棒高跳、走高跳については対象競技者により順位決定戦（ジャンプオフ）を行い、最終枠の順位を獲得した1名に全道大会出場権を与える。
15. 選手の表彰は、全道大会出場権獲得者のみで、その日の競技終了後まとめておこなう。
16. フィールド競技の得点は、同順位が複数の場合は、得点／人数とする。
17. フィールド競技で同順位が複数の場合は、順位決定戦を行うことがある。
18. 総合得点と同じ場合は、優勝種目数の上位校、次に上位入賞数により決定する。
19. 投擲の記録は計測ラインを設ける。計測ライン以下の記録はペグにより最高記録を計測する。  
（計測ラインは、プログラムに記載する。）
20. 競技中の選手に対する警告（イエローカード）は、2021年度日本陸上競技連盟の規定に従い与えられる。ただし、同一種目の全ラウンドを通じ2枚のイエローカードを受けた競技者は当該種目のみ失格となり、それ以降の他種目への出場を妨げないものとする。
21. トラック競技におけるTR5.13に違反するシューズでの出場は認めない。また、フィールド競技においてはTR5.5を適用しない。